

1 収益的収支の状況

(1) 収 益

年延べ入院患者数は、前年度に比べ２，０５２人（１９．１％）減少し、８，６９２人となった。平成２９年度に７０．４％まで回復した年間の病床利用率は、令和２年度は４３．３％まで低下した。地域包括ケア病床の活用などにより患者一人当たり診療収入の向上に努めたものの、入院収益は、２４８，０４０千円となり、前年度に比べて３９，８３８千円減少した。

外来患者数は、年間延べ３０，４４８人で前年度に比べ６，６５９人（１７．９％）の減少となり、外来収益は、２２５，２３８千円となり、前年度より３２，６５４千円減少した。

一般会計からの繰入金は、前年度より４１，９４８千円増額となり、総額で４２１，９４８千円と過去最高の水準になった。また、新型コロナウイルス感染症対策の国等からの補助金等が大幅な増額となった。

この結果、病院事業収益は１，０５５，２５０千円となり、前年度に比べて４６，１２５千円（４．６％）の増となった。

入院、外来患者の減少は、人口の減少や医療環境の変化の影響が続いていることに加え、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大に伴い、患者動向が大きく変化した影響が大きい。

当院の患者はそのほとんどが町民であり、人口減少が直接患者数の減少に影響している。また、医療環境の変化については、大規模病院や専門病院において、手術から在宅復帰まで対応する動きが加速している。

これらの構造的な背景に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大が当町にも波及し、外出抑制に伴う受診控えや内視鏡や吸引を伴う診療の抑制などから、入院、外来とも患者数の減少に拍車がかかる結果となった。

(2) 費 用

医業費用では、人件費、材料費の抑制に加え、経費においても減額を図った。一方で、新型コロナウイルス対策関連の実施により、経費のうち修繕料や委託料、医療従事者への慰労金を支出した特別損失が増額となったことに加え、令和元年度に更新した電子カルテシステムの償却開始により減価償却費が増額となった。

この結果、病院事業費用は、１，０６８，５７１千円となり、前年度に比べて２０，８９６千円（１．９％）の減となった。

(3) 収 支

前年度より収益が増加し費用が減少する結果となり、純損失は、前年度から６７，０２２千円減少し１３，３２２千円となった。そのため、総収支比率は、前年度から６．２ポイント改善し９８．８％となった。

2 欠損金の状況

令和２年度は、平成２４年度から９年連続の赤字となり、平成３０年度に生じた１４，５１３千円の未処理欠損金は、令和２年度において１０８，１７８千円まで拡大した。

3 資本的収支の状況

資本的支出の建設改良費においては、老朽化した設備、機器の更新事業に加え、新型コロナウイルス感染症対策として感染予防備品の整備を実施した。収入では、新型コロナウイルス感染症対策に係る一般会計出資金のほか、令和元年度に実施した電子カルテシステム更新に係る国保調整交付金の精算交付により財源の確保を図ったが約４０，０００千円の収支不足額が生じ、過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

4 資金手当の状況

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う減収対策として、特別減収対策債８２，３００千円の借り入れを行った。

5 目標の達成状況

新小国町立病院改革プランにおいて設定した目標１５項目の達成状況は、医業収益の急激な減少に伴い、令和元年度の４項目から、１項目減少し令和２年度においては３項目の達成にとどまった。

6 数値目標との比較表

別紙のとおり

【 数値目標との比較 】

() は実績、○は達成、×は未達成

項 目		Ⅱ期プラン			新プラン計画期間					経営指標
		25 年度 実績	26 年度 実績	27 年度 実績	28 年度 実績	29 年度 実績	30 年度 実績	元 年度 実績	2 年度 実績	
(1) 経常収支比率 (%)		90.1	98.6	90.4	× 96.8 (87.8)	× 98.7 (96.8)	× 103.3 (98.0)	× 109.2 (92.7)	× 110.4 (98.8)	103.8
(2) 医業収支比率 (%)		74.8	76.1	69.5	× 73.7 (64.6)	× 74.3 (69.8)	× 75.8 (69.6)	× 76.5 (66.2)	× 77.1 (60.6)	81.1
(3) 他会計繰入金対医業収益比率 (%)		35.7	42.1	42.4	× 39.9 (47.9)	× 40.1 (51.0)	× 40.4 (53.3)	× 40.5 (61.8)	× 40.9 (55.5)	32.9
(4) 職員給与費の医業収益に対する割合 (%)		76.6	75.8	85.1	× 80.9 (92.7)	× 79.7 (82.9)	× 77.0 (85.1)	× 75.9 (90.3)	× 74.8 (96.1)	68.8
(5) 材料費の医業収益に対する割合 (%)		13.5	13.8	13.8	× 12.8 (14.1)	○ 12.7 (12.4)	× 12.6 (12.7)	○ 12.5 (12.2)	○ 12.3 (12.0)	14.0
(6) 薬品費の医業収益に対する割合 (%)		5.9	6.2	6.1	× 5.7 (6.5)	× 5.7 (6.6)	× 5.6 (6.6)	× 5.6 (6.0)	× 5.5 (5.6)	8.7
(7) 減価償却費の医業収益に対する割合 (%)		15.5	14.7	16.8	× 15.7 (18.4)	× 15.6 (16.4)	○ 15.6 (13.7)	○ 15.5 (12.4)	× 15.4 (15.9)	8.8
(8) 病床利用率(一般病床) (%)		73.9	81.0	69.9	× 70.0 (59.1)	○ 70.0 (70.4)	× 70.1 (65.1)	× 70.2 (53.4)	× 70.3 (43.3)	69.2
(9) 一日平均患者数	入院(人)	41	45	38	× 38 (33)	○ 38 (39)	× 38 (36)	× 38 (29)	× 38 (24)	48
	外来(人)	151	154	177	× 147 (143)	× 147 (139)	× 147 (137)	× 149 (132)	× 146 (106)	138
(10) 患者1人1日当たり診療収入	入院(円)	21,825	21,904	21,732	× 22,124 (20,150)	○ 22,234 (24,179)	○ 22,345 (24,184)	○ 22,457 (26,795)	○ 22,569 (28,537)	24,835
	外来(円)	7,453	7,461	6,410	× 7,431 (7,377)	○ 7,416 (7,826)	○ 7,401 (8,045)	○ 7,387 (8,066)	○ 7,372 (7,401)	8,445
(11) 職員1人1日当たり診療収入	医師(円)	413,348	437,320	397,674	× 382,194 (378,804)	× 359,426 (332,929)	○ 376,243 (401,227)	× 398,660 (298,235)	× 396,464 (324,163)	315,462
	看護部門(円)	47,214	49,622	42,941	× 46,483 (41,639)	○ 48,571 (49,901)	× 57,007 (46,118)	× 60,403 (42,727)	× 66,077 (35,045)	43,904
(12) 薬品使用効率 (%)		111.5	113.4	118.2	○ 121.6 (124.3)	× 121.5 (107.2)	× 121.5 (109.3)	× 120.8 (101.6)	× 122.7 (100.3)	109.7
(13) 病床100床当たり職員数	医師(人)	7.3	7.3	7.3	8.2 (7.3)	9.1 (9.1)	9.1 (8.9)	11.2 (9.1)	11.2 (7.3)	8.3
	看護部門(人)	68.0	67.6	66.7	67.3 (69.5)	67.3 (65.5)	63.6 (77.3)	73.3 (63.5)	66.7 (67.3)	64.8
	全体(人)	131.5	135.1	134.0	137.3 (138.4)	121.3 (125.8)	118.2 (145.1)	144.4 (122.0)	133.3 (132.7)	118.6